

今月のお知らせ

社会教育センター図書室
☎28・5449

新刊



パパトラ

児童書
きむら ゆいいち 絵
(アリス館) (3歳〜5歳向け)

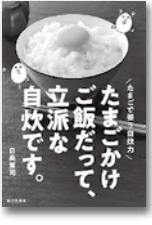
トラの世界のおきてを守り、ママトラとコトラとわかれて、ひとり暮らししているパパトラ。今日も、ママトラとコトラを見守っています。そこへ、ママトラを自分のものにしよつとする若いオストトラがやってきました...



ハーブで楽しむ庭づくり

一般書
東山 早智子 監修
(成美堂出版)

ハーブを育てて収穫し、活用すると日々の暮らしが豊かになります。ハーブ栽培の基本から季節ごとのガーデン作業までを、写真でわかりやすく解説します。お手本にしたいハーブガーデン、ハーブ図鑑も収録。



一般書
たまごかけご飯だって、立派な自炊です。

白央 篤司 著
(家の光協会)

「なるべくかんたんでラクに」を基本に、たまごを使って自炊力をアップ！たまごかけご飯から、目玉焼き、ゆでたまご、炒りたまごまで、たまご料理を1つずつマスターすることで、火加減や味付けなど料理のコツがわかる。



一般書
茶聖

伊東 潤 著
(幻冬舎)

茶の湯という大文化を完成させ、天下人・豊臣秀吉の側近に仕えた千利休。利休は何を目指し、何を企んでいたのか。その謎めいた心根と切腹の真相に迫る歴史大河口マン。

豊山俳句クラブ

青山克己 選

通りすがりの見知らぬ人と菜の花と

毛糸玉めがけて走る子猫かな
坪井昭子

薄氷や空き家の目立つ路地の裏
谷崎 琴

岬まで風さわめきし数椿
東海林宗義

無住寺の固き門冬深し
杉浦みどり

節分やどこか淋しい鬼の顔
岡山 齋

大切に今日日の小春かな
青山とも子

狐狸猪人の足跡雪の原
水野真弓

峠道二つと戴柑子
石黒貴代子

菜の花や岬を遠くながめをる
黒澤裕子

冬空に立つ三千の雛追笹
高木須磨子

待春や陶人形のおちよほ口
山下敬太

尻上げて少年春の風を漕ぐ
田村多喜子

月冴ゆる會ではタムの底の故郷
小路八百子

うず高く積まれて神のどんどかな
坪井径子

青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

「やう来たなあゝ会へば咳く母のあり
この言葉聞きて支へられをり

戴きし干柿食めば思ひ出す藁に並び
渡辺トヨ子

し祖母の手作り
中澤芳子

年古りて賀状の枚数減りてきて当然
小出寿枝

の事かと願みる今
荒川昌枝

大木のメタセコイヤは天を指す見上げ
遠住む孫らに急かされて行く

名古屋とふ都会の夜景を見たきとふ
一柳千鶴子

人生に余生のありと励ますこと新春
の陽は輝き昇る

届きたる孫よりの鯛めし食む夕べ大雨
雨となるも暖かき雨

家族には病む人無きが最上と祝ひの
席の目出度さの増す

変り無き日の続くこと願ふのみ年頭の
祈りは平凡に尽く

丁寧に字は書くものぞと誰に言ふぞ
自身に言ひつつ今日も書くなり

身近に置きをくひとつに国語辞典死
んでも置いといてと物書きにうつ

山田 米

水野笑子

編集後記

新年度がスタートした。本町にとつては、10年に1度の新しい総合計画スタートの4月である。第5次総合計画は「一人ひとりが輝く暮らし豊かなアーバンビレッジ」を目指していく▼総合計画の策定に当たっては、住民の皆さんのご意見をより多く取り入れるため、審議会や住民アンケート、町民討議会議などを開催した。昨年の7月号広報でお知らせしたとおり、住民アンケートの結果、「豊山町は住みやすい」「今後も住み続けたい」と多くの方に評価していただけたものの、前回の調査結果と比べると低下していた▼10年前の本町を取り巻く状況を思い出すと、空港周辺には利用されていない土地が点在し、県営名古屋空港は定期旅客便撤退の危機にもあった。現在は、国産ジェット旅客機の最終組立工場をはじめ航空機関連施設が集積し、空港利用者数も昨年度は90万人を超えるまでになった。空港機能変更後、まちに漂っていた静寂は今はなく、活気を取り戻した▼これから始まる10年、福祉、教育、防災など、暮らしに身近な施策により一層取り組むとともに、住民アンケートを毎年度実施する。住民満足度の向上に努め、一人ひとりの人生が輝くことで、本町の輝きに一層の磨きをかけていきたい。